

カレンダー

(ゴチックは本号に掲載の記事)

会 期	集 会 名 (会 場)	(掲 載 号)
学術集会・講習会		
2002年9月21日(土)～22日(日)	第3回応用物理学会教育シンポジウム(2002年)―技術立国日本の危機を救う科学教育とは?―(東京都・学習院大学百周年記念館大講堂)	[368]
21日(土)～23日(月)	日本植物学会第66回大会(京都・京都大学理学部・農学部)	[361] [364]
24日(火)～27日(金)	日本動物学会第73回大会(金沢市・金沢大学角間キャンパス)	[361] [363]
10月2日(水)～5日(土)	第15回内藤コンファレンス「難病の分子生物学Ⅲ」(神奈川県・湘南国際村センター)	[366]
5日(土)～6日(日)	日本爬虫両棲類学会第41回大会(札幌市・北海道東海大学札幌校舎)	[369]
11日(金)	生体キノン研究会第1回講演会(東京・新橋住友ビル第1・2会議室)	[370]
11日(金)～13日(日)	2002年度日本魚類学会年会(松本市・信州大学松本キャンパス)	[367]
11日(金)～13日(日)	植物微生物研究会第12回研究交流会(千葉県・かずさアーク)	[367]
12日(土)	第19回(財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団公開シンポジウム「変貌する微生物学―ゲノムから見た微生物の可能性とその魅力―」(東京・経団連ホール)	[368]
18日(金)	酵素工学研究会第48回講演会(東京・東京大学「山上会館」)	[368]
19日(土)	第15回細胞生物学シンポジウム「細胞骨格の多様なはたらきを探る」(東京・科学技術館サイエンスホール)	[369]
20日(日)	平成14年度自然観察会「川原の生き物」(東京・多摩川(二子玉川))	[369]
23日(水)～25日(金)	平成14年度統計数理研究所公開講座「統計数理要論 A モンテカルロフィルタ入門と実戦的応用」(東京・統計数理研究所)	[370]
11月2日(土)～4日(月)	平成14年度野外生態実習「自然教育教材の作り方」(東京・国立科学博物館附属自然教育園)	[366]
2日(土)～4日(月)	日本動物行動学会第21回大会(東京・立教大学(7号館))	[369]
9日(土)	2002年度藻類談話会(京都市・京都大学農学部総合館 W-524号室)	[370]
10日(日)	平成14年度自然観察会「秋の雑木林」(神奈川県・川崎市生田緑地)	[370]
19日(火)～20日(水)	第17回「大学と科学」公開シンポジウム：動物の形作り―その最前線と新展開(東京・日経ホール)	[370]
27日(水)～29日(金)	平成14年度統計数理研究所公開講座「統計数理要論 B 統計学・ニューラルネットワーク・学習、その最前線 part2」(東京・統計数理研究所)	[370]

→移転のお知らせ

生物科学ニュース編集局が移転しました

平成14年8月24日より生物科学ニュース編集局は **文京区本郷 2-27-2 東真ビル 2階より3階** へ移転いたしました。移転に伴い、電話、FAX 番号が下記のように変更されました。また、編集局のメールアドレスが新しくなりましたので、お知らせいたします。

電話番号 旧 03-3814-5675 新 03-3814-5461

FAX 番号 旧 03-3814-5352 新 03-3814-6216

生物科学ニュース編集局メールアドレス：bsnews@bsj.or.jp

なお、編集局への直接のお問い合わせは、水曜日10:30から16:00にお願いいたします。

12月5日(木)～6日(金)第25回極域生物シンポジウム(東京・国立極地研究所)〔369〕

**7日(土) 自然史学会連合第8回シンポジウム「極域の生物学－フィールドサイエンスの最前線－」
(東京・国立科学博物館新宿分館講堂)〔370〕**

2003年3月10日(月)～12日(水)平成14年度統計数理研究所公開講座「統計数理特論 計算科学と統計科学の接点－並計算, グリッド, 専用計算機, 乱数－」(東京・統計数理研究所)〔370〕

国際会議

2002年10月7日(月)～11日(金)INMARTECH 2002(神奈川県・海洋科学技術センター(JAMSTEC)横須賀本部)〔368〕

12月16日(月)～18日(水)青色光生物効果IV, 2002年(The Blue Light SyndromeIV)(岡崎市・岡崎コンファレンスセンター)〔368〕

2003年3月17日(月)～21日(金)国際シンポジウム BIO-LOGGING SCIENCE(東京・国立極地研究所)〔368〕

公 募

2002年9月20日(金) 第19回井上学術賞

第19回井上研究奨励賞

第6回井上フェロー〔365〕

20日(金) 第6回尾瀬賞〔366〕

30日(月) 平成14年度(第24回)沖縄研究奨励賞〔368〕

10月10日(木) 第43回(平成14年度)東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成〔368〕

15日(火) 平成15年度笹川科学研究助成〔369〕

30日(水) 第12回生態琵琶湖賞〔369〕

11月15日(金) 第8回日本女性科学者の会奨励賞〔370〕

30日(土) 2003年度「女性科学者に明るい未来をの会」猿橋賞および研究奨励賞〔368〕

30日(土) 第5回大学婦人協会守田科学研究奨励賞〔369〕

12月10日(火) 第41回(平成14年度)下中科学研究助成金〔365〕〔368〕

31日(火) 平成14年度風戸研究奨励金(研究費助成)〔368〕

31日(火) 2003年度 ICIPE(国際昆虫生理生態学センター)派遣研究者〔369〕

2003年1月31日(金) (財)ノバルティス科学振興財団平成15年度(2003年度)研究集会助成〔370〕

4月30日(水) 2003年度「女性科学者に明るい未来をの会」研究奨励賞〔368〕

5月31日(土) 第11回(2004年度)ロレックス賞〔370〕

求 人

2002年9月30日(月) 北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻(生物学)教授1名〔368〕

編集委員会からのお知らせ 生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合は、生物科学ニュース編集局(bsnews@bsj.or.jp)に、電子メールの本文または添付書類(テキストファイル、マイクロソフトワードまたはアップルワークス書類に限る。ファイル名に拡張子を付ける。)で、Subjectに「ニュース原稿」と記入の上、お送り下さい。フロッピーディスクを郵送いただいても結構です。なお、修飾文字や特殊文字をご使用の際は、同時にプリントアウトしたものをファックス(03-3814-6216)にてお送り下さい。図表等のファイルについては、予めご相談下さい。書式等は生物科学ニュース最新号をご参照下さい。今年度の掲載原稿の締切日(必着)は巻末に掲載してあります。

- 30日(月) 山梨大学工学部循環システム工学科物質循環大講座助教授または講師 1 名[369]
- 30日(月) 福岡教育大学教育学部理科教育講座助教授または講師 1 名[369]
- 10月31日(木) 慶應義塾大学商学部生物学教室助手(嘱託) 1 名[368]
- 31日(木) 名古屋大学大学院生命農学研究科生物情報制御専攻分化情報制御講座助教授 1 名[370]
- 11月 1 日(金) 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻植物科学大講座教授 1 名[369]
- 15日(金) 神奈川大学理学部生物科学科特別助手 1 名[370]
- 慶應義塾大学理工学部生命情報学科(平成14年4月開設)、大学院基礎理工学専攻生命理工学専修博士研究員(ポスドク) 8 名[361]
 - 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所ポスドク研究員 2～3 名[370]

(社)日本植物学会、(社)日本動物学会へのお問い合わせは下記のとおりをお願いします。

(社)日本植物学会 電話 03-3814-5675 (9時半から4時半まで)

FAX 03-3814-5352

E-mail bsj@ma.kcom.ne.jp

(社)日本動物学会 電話 03-3814-5461 (9時から4時まで)

FAX 03-3814-6216

E-mail ny02-zsj@t3.rim.or.jp

学術集会

●**生体キノン研究会第1回講演会**が、10月11日(金)午後1時～6時に、新橋住友ビル第1・2会議室(東京都港区新橋5-11-3)で開かれます。主催は生体キノン研究会で、日本薬学会、日本農芸化学会、日本化学会の共催、日本ビタミン学会の後援です。内容は次のとおりです。

生体キノン物質の紹介 ユビキノン(神戸学院大・岡本正志)/メナキノン(東北大・駒井三千夫)/ピロロキノリンキノン(山口大・山田 守)/プラストキノン(岡山大・山本 泰)/ユビキノールの抗酸化作用(東大・山本順寛)/ユビキノン研究の現状(神戸学院大・紀氏健雄)

参加費は3,000円(会員は無料)、懇親会7,000円です。懇親会は同ビル地下2Fで午後6時～8時の予定です。

【問合先】100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ガス化学(株)生物化学部内 生体キノン研究会事務局(担当山岸) TEL 03-3283-4773 FAX 03-3283-5184 E-mail quinone@mgc.co.jp

●**2002年度藻類談話会**が、11月9日(土)午後1時～5時に、京都大学農学部総合館 W-524号室(京都市左京区北白川追分町)で開かれます。内容は次のとおりです。

講演：ハウネンエビと共に生きる藻類(京都教育大・

教育・坂東忠司)、ラン藻の窒素固定(福井県立大・生物資源・大城 香)、有毒渦鞭毛藻の遺伝子診断法の開発(京都大院・農・左子芳彦)、浄水処理障害の原因となる藻類について(神戸市水道局・水質試験所・伊藤裕之)、広島湾におけるホンダワラ類の生態研究と藻場造成(水産総合研究セ・瀬戸内海区水産研・吉田吾郎)

参加費は500円です。談話会終了後、学内で懇親会(有料)が予定されています。詳細はホームページを見てください。

【問合先】606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学総合人間学部自然環境学科 幡野恭子 TEL 075-753-6854 FAX 075-753-6864 E-mail hatano@bio.h.kyoto-u.ac.jp ホームページ <http://biotech1.nikkeibp.co.jp/100HP/> (「バイオ・基礎医学関係者の皆のホームページ」, 「学会・研究会」の項目)

●**第17回「大学と科学」公開シンポジウム、「動物の形作りーその最前線と新展開」**が、11月19日(火)～20日(水)に日経ホール(東京)で開かれます。本シンポジウムは平成14年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公开发表(A)」を受けて実施されるもので、本年度開催される9つのシンポジウムのうちの一つです。内容は次の通りです。

11月19日(火)10:00-17:25「セッション1. 形づく

りの枠組みを決める」：原腸形成の分子機構（基生研・上野直人）／動物の繰り返し構造を作る仕組み（遺伝研・相賀裕美子）／細胞に位置情報を与えるメカニズム（東京大・多羽田哲也）／四肢の発生から再生へ（東北大・井出宏之）「セッション2. 組織化した器官をつくる」：手足の組織パターンを作り出す仕組み（名古屋大・黒岩 厚）／神経系の分化を制御する（慶應大・岡野栄之）／動物の大きさはどのように決まるか（名古屋大・西田育巧）／消化器官のできかたと細胞間の情報伝達（都立大・八杉貞雄）「セッション3. 形の進化と多様性」：プラナリアから見た脳の進化（理研・梅園良彦、阿形清和）／生きている脊椎動物の化石・ウニの形づくり（広島大・赤坂甲治）／肢の形態の多様性とその進化のメカニズム（徳島大・野地澄晴）／分子から種形成を考える（東工大・岡田典弘）

11月20日(水) 10:00-15:05 「セッション4. 形の進化と多様性ボディープランの展開」：器官形成のしくみを探る（東京大・浅島 誠）／カエルの変態にみられる形づくり（広島大・吉里勝利）／神経形成と脳研究の今後の展開（東北大・仲村春和）／眼を作る：パーツを生み出す細胞の力と器官形成のプログラム（大阪大・近藤寿人）「セッション5. 次世代の生命科学を切り開く」：網羅的遺伝子解析の先にみえてくるもの：ホヤを例に（京都大・佐藤矩行）／ショウジョウバエの生殖細胞の形成メカニズム（基生研・小林 悟）／ゼブラフィッシュ遺伝解析から学ぶ神経分化機構（理研・岡本 仁）／動物の形態形成と波の理論（理研・近藤 滋）

参加の詳細は下記に問い合わせてください。

【問合せ先】 102-0072 東京都千代田区飯田橋4-6-5 NKS 飯田橋ビル4F (株)クバプロ内 第17回「大学と科学」公開シンポジウム TEL 03-3238-1689 FAX 03-3238-1837 E-mail us17@kuba.co.jp ホームページ <http://www.kuba.co.jp/US17/>

●自然史学会連合第8回シンポジウム「極域の生物学－フィールドサイエンスの最前線－」が、12月7日(土)午後1時～5時30分に、国立科学博物館新宿分館講堂（東京都新宿区百人町3-23-1）で開かれます。

本シンポジウムは、さまざまな極域（極地、高山、深海ならびに地底）に適応した生物群集の研究にまつわる最新情報や成果を通じて、フィールドサイエンスの最前線の現状や重要性を一般の方々に深く知ってもらう目的で企画され、平成14年度科学研究費補助金研究成果公開

促進費を受けて開催されます。講演内容は次のとおりです。

1)「南極の陸上生態系－極限環境に生きる」(国立極地研・伊村 智), 2)「氷河生態系と地球環境－雪と氷の世界の生物たち」(東工大・幸島司郎), 3)「深海底の化学合成生物群集」(長崎大・橋本 惇), 4)「地下に広がる生物圏」(海洋科学技術セ・北里 洋)。

参加費や事前申込みは必要ありませんが、会場の都合で座席数に限りがありますのでご注意ください(先着順, 約150席)。

【問合せ先】 169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1 国立科学博物館動物第2研究室内 自然史学会連合事務局 篠原現人 TEL 03-3364-7125 (もしくは03-3364-2311) FAX 03-3364-7104 E-mail s-gento@kahaku.go.jp ホームページ <http://www.shizen.info>

講 習 会

●平成14年度統計数理研究所公開講座が下記の日程で、統計数理研究所で開かれます。対象は、研究者、学生、一般社会人です。内容は下記のとおりです。申込方法の詳細は下記に問い合わせてください。次回以降の公開講座も、決定しだい、順次、下記ホームページ (<http://www.ism.ac.jp/>) で案内されます。

10月23日(水)～25日(金) 統計数理要論 A モンテカルロフィルタ入門と実戦的応用／講師：統計数理研・樋口知之、川崎能典、北川源四郎、佐藤整尚／申込締切：9月13日(当日消印有効)／講習料：6,800円／定員：70名

11月27日(水)～29日(金) 統計数理要論 B 統計学・ニューラルネットワーク・学習、その最前線 part2／講師：統計数理研・江口真透、栗木 哲、南 美穂子／申込締切：10月18日(金)(当日消印有効)／講習料：6,800円／定員：50名

平成15年3月10日(月)～12日(水) 統計数理特論 計算科学と統計科学の接点 ー並計算、グリッド、専用計算機、乱数ー／講師：統計数理研・田村義保、佐藤整尚、理研・泰地真弘人 東工大・松岡 聡 北大・南 弘征／申込締切：平成15年1月31日(金)(当日消印有効)／講習料：6,800円／定員：30名

【問合せ先】 106-8569 東京都港区南麻布4-6-7 統計数理研究所公開講座係 TEL 03-5421-8720, 03-3446-1501 (代) ホームページ <http://www.ism.ac.jp/>

●平成14年度自然観察会「秋の雑木林」が、11月10日(日)に、川崎市生田緑地で行われます。

紅葉も終わりに近い雑木林で晩秋の自然を満喫できます。冬越しの準備をしているテントウムシや、コナラ・クヌギなどのいろいろなどんぐりも観察できます。指導者は国立科学博物館附属自然教育園職員です。募集人員は50名(小学生以上、小学生には保護者の参加が必要)で、実施日1か月前から電話で受け付けます。参加費は無料(ただし、保険料として1人50円当日支払)です。申込が受理された方には参加通知書を郵送します。

【問合先】 108-0071 東京都港区白金台5-21-5 国立科学博物館附属自然教育園 TEL 03-3441-7176 (月曜日を除く)

公 募

●第8回日本女性科学者の会奨励賞候補者が募集されています。

対象は自然科学分野で研究実績をあげ、将来性が期待される者であり、かつ当会の目的に賛同し、その達成のために努力していると認められる当会会員(応募時入会可)です。特に年齢、国籍、性は問いませんが、管理職(教授、部長)にある方は応募できません。受賞者(年2件以内)には賞状および奨励金20万円が贈られます。応募書類請求期間は10月1日(火)～31日(木)で、下記までハガキで請求してください。応募期間は11月1日(金)～15日(金)(必着)です。なお、電話での問い合わせはできません。

【応募書類請求先・送付先】 351-0198 和光市広沢2-1 理化学研究所 フロンティア・生体超分子・スフィンゴ脂質発現チーム内 日本女性科学者の会賞連絡事務局 濱中すみ子

●(財)ノバルティス科学振興財団平成15年度(2003年度)研究集会候補の推薦が公募されています。

生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域において、わが国で開催される研究集会で、かなりの数の国外からの参加者を含む国際性豊かなものに対し、運営経費の一部が助成されます。助成対象は平成15年3月以降に開催される研究集会で、助成金額は1件50万円で、件数は約10件です。ただし、参加者が1,000名を越すような大規模な研究集会、2国間の研究集会または国内の学会および機関の主催する集会は原則として助成の対象と

なりません。また、推薦者は当財団の指定する学会、協会の代表者、当財団の現任ならびに前任の理事および評議員で、1推薦者からの推薦は1件に限られます。

平成14年(2002年)10月から推薦受付を開始し、平成15年1月31日(金)に締切ります。締切後も助成金額が本年度の予算額(500万円)に達しない場合は推薦の受け付けが継続されます。詳細は下記に問い合わせてください。なお、動物学会と植物学会への応募締切は、推薦締切の1か月前です。

【問合先】 106-0032 港区六本木7-8-4 銀嶺ビル5F 財団法人ノバルティス科学振興財団 TEL 03-5414-5761 FAX 03-3796-8271 ホームページ <http://www.novartisfoundation.jp>

●第11回(2004年度)ロレックス賞が公募されています。

この賞は、世界中の人々の“進取の気象”を育成することを目的に創設されたもので、世界中の新規及び進行中の独創的かつ革新的なプロジェクトを実行している個人に対し、資金援助と社会的認知をサポートするものです。2年に1度、5人の受賞者、および5人を限度とする準入賞者に授与されます。年齢、国籍、経歴を一切問わず、誰でも応募が可能です。受賞者には、賞金(10万米ドル)と副賞が贈られます。対象分野は、科学と医療、技術と革新、探検と発見、環境、文化遺産です。詳細は、下記のロレックス賞公式ウェブサイト、もしくは日本インフォメーションデスクおよび日本プレスオフィスまで問い合わせてください。アジア、太平洋地区の応募締切は2003年5月31日(土)です。

【問合先】 ロレックス賞公式ウェブサイト

(英語) <http://www.rolexawards.com>

(日本語) <http://www.rolexawards.com/jp>

ロレックス賞日本インフォメーションデスク(日本ロレックス株式会社 広報課) 島野章子 TEL 03-3216-5671 FAX 03-3213-8328 E-mail ashimano@rolex.co.jp

ロレックス賞日本プレスオフィス((株)アイ・アールジャパン内) 渡辺裕子 TEL 03-3796-1135 FAX 03-3796-1553 E-mail yuko-prs@irjgroup.co.jp

求 人

●名古屋大学大学院生命農学研究科生物情報制御専攻分化学情報制御講座で助教授1名が公募されています。

高等植物が示す生命現象における様々な生物情報の制御機構を分子レベルで解明することにより、農作物の生産性向上を目指した研究を行う方で、ゲノムサイエンスを基盤としたタンパク質研究分野に幅広い知識と視野を持つことが望まれています。

提出書類は、(1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号等を含む）、(2) 履歴書、(3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他参考となる事項）(4) 主な原著論文および総説の別刷り（複写でも可）(5 編以内)、(5) 現在までの研究の概要（2,000字程度）、(6) 今後の研究についての抱負（2,000字程度）、(7) 学部及び大学院教育に対する抱負（1,000字程度）、(8) 過去5年間の国際学会への参加状況、(9) 応募者の研究、人物等について照会できる人（2名）の氏名及び連絡先です。応募締切は10月31日（木）（必着）です。応募書類の送付は簡易書留とし、封筒に「分化情報制御講座助教授応募書類」と朱書してください。

【問合先・書類送付先】 464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科、生物情報制御専攻分化情報制御講座、分化情報制御講座助教授選考委員会、委員長 森 仁志 TEL/FAX 052-789-4167 E-mail morihito@agr.nagoya-u.ac.jp

● **神奈川大学理学部生物科学科で特別助手1名が公募されています。**

専門分野は生物科学全般、生物科学実習、特別実習などの指導補助、卒業研究の指導補助、研究装置類の保守・管理、学科ホームページの管理、および学科で必要とされる教務関係等の業務を幅広く担当できる人材が求められています。学生の履修コースには(1) 生化学・分子生物学、(2) 個体・細胞生物学、(3) 自然史・生態学の3コースがありますが、今回の公募と各コースとの対応は限定していません。本学科の概要はホームページ (<http://www.bio.kanagawa-u.ac.jp>) をご覧ください。

本学規定により特別助手の任期は5年です。任期に関する詳細は人事室（045-481-5661 内線2080～2083）に問い合わせてください。

応募資格は、1) 着任時に年齢30歳以下の者。2) 修士あるいはそれと同等以上の業績を有する者、または2003年3月末日までに修士号取得見込みの者です。

提出書類は、1) 履歴書（写真貼付）、2) 研究業績目録、3) 主要論文別刷（5編以内、コピー可）、4) 研究の概要（A4版1枚程度）、5) 教育の理念（特に私立大

学における理科教育のあり方についての自身の考え。A4版1枚程度）、6) 応募者について参考意見を頂ける方2名の氏名・所属・連絡先、7) 健康診断書（コピー不可）です。書類審査により選考し、必要に応じて面接を行いません。応募締切は11月15日（金）です（消印有効）。封筒の表に「生物科学科教員応募書類」と明記し、書留で郵送してください。原則として応募書類は返却しません。採用予定日は2003年4月1日です。

【書類提出先】 259-1293 平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス教務課気付 理学部長 村上悟

【問合先】 学科主任 竹内重夫 TEL 0463-59-4111（内線2725） E-mail shigeo@bio.kanagawa-u.ac.jp

● **岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所でポスドク研究員2～3名が募集されています。**

研究内容は、1) シロイヌナズナの卵・精子形成の分子機構およびその発生進化学的解析、あるいは2) シロイヌナズナ人工倍数体のマイクロアレイ解析などを通じた植物の倍数体分化の研究です。応募資格は、博士号取得者で、着任時点で35才以下の方です。採用期間は、2003年3月31日まで（更新可）です。応募方法は、履歴書（英文、日本語）、研究業績目録、これまでの研究概要をメールの添付書類としてリッチテキストファイルで送ってください。

選考方法は、書類審査および面接です。適任者が見つかった時点で応募が締切られます。

【問合先・書類送付先】 444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 岡崎国立研究機構 基礎生物学研究所 長谷部光泰 TEL&FAX 0564-55-7546 E-mail mhasebe@nibb.ac.jp ホームページ <http://www.nibb.ac.jp/~evodevo>

そ の 他

● **（財）三菱財団による研究助成の公募がありましたことは既にお知らせしましたが [362]、次の方に決まりました。**

第33回（平成14年度）三菱財団自然科学研究助成：横浜市立大院総合理学・蟻川謙太郎ほか42件

 書 評

ホメオボックス・ストーリー 形づくりの遺伝子と発生・進化 ワルター・J・ゲーリング著, 浅島 誠監訳, 辻村秀信・黒岩 厚・倉田祥一朗・古久保一徳永克男・新美輝幸訳, 東京大学出版会, 2002年, 332ページ, 4,800円(本体価格)

ショウジョウバエの発生遺伝学を, 言わばホメオボックスの創世記として, 数年前にゲーリング自らが書き下ろした. その待望の日本語訳が本書である. 生物学に関心のある一般向けに書かれているため, 多様なエピソードが随所に織り込まれ, これだけでも大いに読者の関心を引く. 奈良の大仏の前に置かれた青銅製のチョウは八本肢であり, これはホメオティック変異の世界最初の記録であることや, ダリの家やダリ美術館の屋根を飾る巨大な卵や初期卵割胚のオブジェについてなど, 著者の幅広い教養に脱帽させられる. 全体の構成も決して教科書的でない. セントラルドグマや古典的な遺伝学などの予備知識は, 第1章でさりりと触れられているだけであり, 発生を理解する鍵としてのホメオティック遺伝子が, 早くも第2章から登場する. 後は第13章の眼の発生や進化に至るまで, 正にゲーリングの独壇場である. HOX 遺伝子の発見からそのヒエラルキー, 体節の形成, 決定, 進化などの分子機構やそれらに関する著者の考えが, ショウジョウバエの発生を中心に明快に語られている.

不勉強な評者にとっては, 大いに楽しみながら勉強させて頂いたという実感であった. 生物学を専攻する学生なら, 十分に読みこなすことができる内容であり, 同時に著者の情熱が大いに魅せられることであろう. 優秀な日本人研究者が多数登場することも, 本書に親しみを感ずる所以であると思った. なお, 73頁の上段から下段にかけての「一六七三年」は, 「一九七三年」の誤りであろう.

(都臨床研・総合 久保英夫)

中国砂漠・沙地植物図鑑(木本編) 中国科学員蘭州沙漠研究所編纂, 劉娛心主編, 徳岡正三訳・解説, 東方書店, 2002年, 568ページ, 18,000円(本体価格)

本書は1985年~1992年に北京・科学出版社から出版された「中国沙漠植物志」全3巻から, 木本植物45科126属415種を選んで, 中国語で書かれた原著の記述を和訳し, 図版を再掲載したもので, 木本植物を選んだのは特に緑化の効果が大きいと考えられるからということであ

る. 冒頭に徳岡氏による中国の砂漠地とその緑化についての短い適切な解説がある. 植物の配列は原著の順になっており, 記述は忠実に訳されているが, 分類群の番号は新しく通しで打たれているため, 原著との対比は簡単ではない. 原著になかった和名(既存の和名のみ)が付された一方で, 学名の著者, 出典, 異名は省略されている. 図版は原著の図版をトレースしたものと思われ, よくできているが微妙な違いがある. このように本書は, 中国の砂漠地域に分布する植物を展望するという目的ではたいへん適した本であり, また, 原著と対比することにより, 中国語での植物記載を学ぶのにも絶好の資料である. しかし, 論文等の引用文献としては, 本書はよい手がかりにはなるものの, 最終的には原著にもどって内容を確認し, 原著を引用することが必要と考えられる.

(東大院・理・植物園 邑田 仁)

 寄贈図書の書評希望者募集

生物科学ニュース編集委員会では, 本委員会に寄贈されました下記の本の書評希望者を募集いたします. 希望者は編集委員会まで葉書, FAX または E メールでご連絡ください. 書評をお願いする場合は本と執筆要領をお送りいたします. 但し希望者多数の場合, どなたにお願いするかは編集委員会にご一任願います. 尚, 出版社より編集委員会に書評依頼のあった単行本以外の書評, および書評の投稿は受け付けておりませんのでご了承ください.

Iranian Entomology (2-vols. Set) Vol. 1-Faunal Studies/ Vol. 2- Applied Entomology Cyrus Abivardi 著 1033頁 (Vol.1~2) 2001年 Springer-Verlag 24,730円(本体価格・以下同)/日本コウモリ研究誌 翼手類の自然史 前田喜四雄著 203頁 2001年 東京大学出版会 3,700円/ポピュラーサイエンス199 広域大気汚染 ―そのメカニズムから植物への影響まで― 若松伸司, 篠崎光夫共著 226頁 2001年 裳華房 1,600円/X-ファイルに潜むサイエンス-ミュータント, ウイルス, エイリアンの実像 アン・サイモン著 中村雅美監修 熊井ひろ美訳 484頁 2002年 文一総合出版 2,400円/多様性からみた 生物学 岩槻邦男著 136頁 2002年 裳華房 2,300円/里山の生態学―その成り立ちと保全のあり方― 広木詔三編 333頁 2002年 名古屋大学出版会 3,800円/生物講義―大学生のための生命理学入門― 岩槻邦男著 176頁 2002年

裳華房 2,000円／雑草の成功戦略—逆境を生きぬく知恵— 稲垣栄洋著 207頁 2002年 NTT 出版 1,500円／植物が未来を拓く 植物が未来を拓く編集委員会 駒嶺 穆編 240頁 2002年 共立出版 1,800円／ポピュラー・サイエンス243 動物たちの気になる行動(1)—食う・住む・生きる篇— 上田恵介・佐倉 統監修 198頁 2002年 裳華房 1,600円／ポピュラー・サイエンス244 動物たちの気になる行動(2)—恋愛・コミュニケーション篇— 上田恵介・佐倉 統監修 192頁 2002年 裳華房 1,600円／科学史こぼれ話 佐藤満彦著 154頁 2002年 恒星社厚生閣 2,000円／Biological Rhythms Vinod Kumar 著 254頁 2002年 Springer-Verlag 17,790円(2002年6月現在)／生物化学実験法47 PCR 実験マニュアル 原理から応用まで 上野川修一・駒野 徹・志村憲助・中村研三・山崎信行編集 駒野 徹編著 237頁 2002年 学会出版センター 3,400円／ESSENTIAL FUNGAL GENETICS D. Moore, LilyAnn Novak Frazer 著 358頁 2002年 Springer-Verlag 14,390円(2002年7月現在)／これからの鳥類学 山岸 哲・樋口広芳共編 528頁 2002年 裳華房 6,500円

【連絡先】 113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集委員会 FAX 03-3814-6216 E-mail pdp@sakura.cc.tsukuba.ac.jp, naruse@biol.s.u-tokyo.ac.jp

お知らせ

●平成14年度(後期)理研シンポジウム開催について

理化学研究所では、学会・産業界でとくに注目されている研究テーマについて、随時シンポジウムを開催しています。興味のある方は下記ホームページを利用してください。

ホームページ http://www.riken.go.jp/index_j.html
→研究プラザ→理研シンポジウム

【問合先】 351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 理化学研究所 研究交流課 図書館(成果発表) TEL 048-467-9288 FAX 048-462-4714 E-mail hensan@postman.riken.go.jp

お詫び

8月号(368号)では電子版の出版が大変遅れてしまいました。印刷所からのファイル発送が遅れたことに加え、編集幹事の対応が遅れたことが原因です。電子版は印刷体に比べ、迅速に皆様のお手元に情報が届くことが原則です。今回の事態を深くお詫び申し上げるとともに、今後このような事が起きないよう徹底致します。

生物科学ニュース編集委員会